

# 働く女性へのハラスメント

## ーメディアの場合、明治から現代までー

3月2日(土) 13:30~16:30



開場 13:00 講演 2 時間 途中休憩あり

会場：ひらつか市民活動センター

(平塚市八重咲町 3-3、JA ビルかながわ 2 階)

講師：江刺 昭子氏



働く女たちにとっての大きな障害はセクハラやパワハラなどのハラスメント。女性記者によるセクハラ  
の告発で、人権に鈍感な現状が露呈した。

では、女たちはハラスメントにどう対応してきたのか。新聞・雑誌記者などを例に、明治から現代まで  
をたどり、問題の根深さを探ります。

参加費：500 円 (資料代含む)

定員：先着 80 人



### 江刺昭子氏プロフィール

広島県出身。大学卒業後、文化出版局『装苑』『ミセス』の編集を経て、評伝作家、ジャーナリストとして独立。

広島で被爆した作家大田洋子の評伝『草籠 (くさずえ)』で、1972年第12回田村俊子賞受賞。『女のくせに一草分けの女性新聞記者(ジャーナリスト)たち』『透谷の妻—石阪美那子の生涯』『樺美智子 聖少女伝説』など著書多数。

神奈川県的女性史編さんや、県内女性史研究グループの指導育成に尽力し、2010年第59回神奈川文化賞受賞。女性史研究の現場から時事評論を発信し続けている。

主催：女性史に学ぶ会

後援：平塚市・平塚市教育委員会

問い合わせ先：0463-71-6471 または 090-6655-7862 星賀 典子